

令和2年12月31日

統計トピックスNo. 127

^{うし}
「丑年生まれ」と「新成人」の人口

— 令和3年 新年にちなんで —

(「人口推計」から)

^{うし}
丑年生まれは1066万人

新成人は124万人

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、令和3年1月1日現在における^{うし}「丑年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要 約

I ^{うし} 丑年生まれの人口は1066万人

- 男性は517万人，女性は549万人
- 平成21年生まれは昭和12年生まれより3万人少ない
- 十二支の中では3番目に多い

II 新成人人口は124万人

- 新成人人口（平成12年生まれ）は124万人で前年比2万人増
男性は64万人，女性は60万人
- 新成人人口の総人口に占める割合は11年連続で1%を下回る

I ^{うし} 丑年生まれの人口は1066万人

男性は517万人、女性は549万人

令和3年1月1日現在における^{うし}丑年生まれの人口は1066万人で、総人口1億2556万人（男性6110万人、女性6446万人）に占める割合は8.5%となっています。

男女別にみると、男性は517万人、女性は549万人で、女性が男性より32万人多くなっています。 (表1, 表2)

平成21年生まれは昭和12年生まれより3万人少ない

^{うし}丑年生まれの人口を出生年別にみると、昭和24年生まれ（令和3年に72歳になる人）が211万人と最も多く、次いで昭和48年生まれ（同48歳になる人）が203万人、昭和36年生まれ（同60歳になる人）が149万人などとなっています。最も若い平成21年生まれ（同12歳になる人）は106万人で、昭和12年生まれ（同84歳になる人）より3万人少なくなっています。 (図2, 表2)

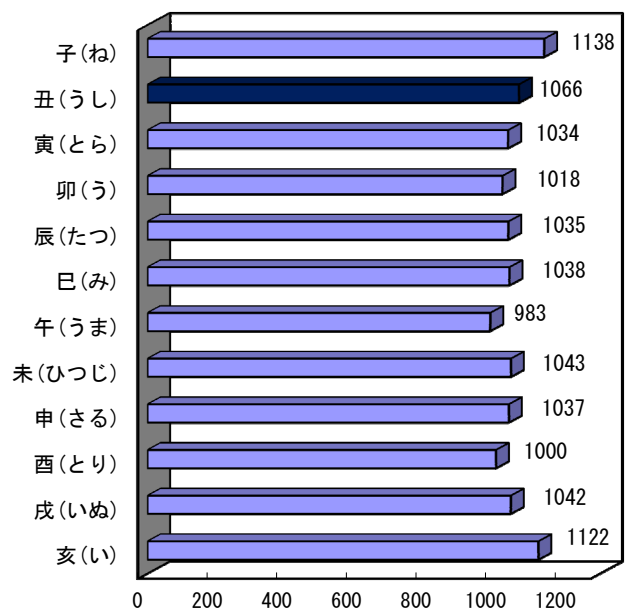
十二支の中では3番目に多い

総人口を十二支別にみると、子^ね年生まれが1138万人で最も多く、亥^い年（1122万人）、^{うし}丑年（1066万人）などと続いています。 (表1, 図1)

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12556	100.0	—
子(ね)	1138	9.1	1
丑(うし)	1066	8.5	3
寅(とら)	1034	8.2	9
卯(う)	1018	8.1	10
辰(たつ)	1035	8.2	8
巳(み)	1038	8.3	6
午(うま)	983	7.8	12
未(ひつじ)	1043	8.3	4
申(さる)	1037	8.3	7
酉(とり)	1000	8.0	11
戌(いぬ)	1042	8.3	5
亥(い)	1122	8.9	2

図1 十二支別人口



(万人)

図2 男女、出生年別^{うし}丑年生まれの人口

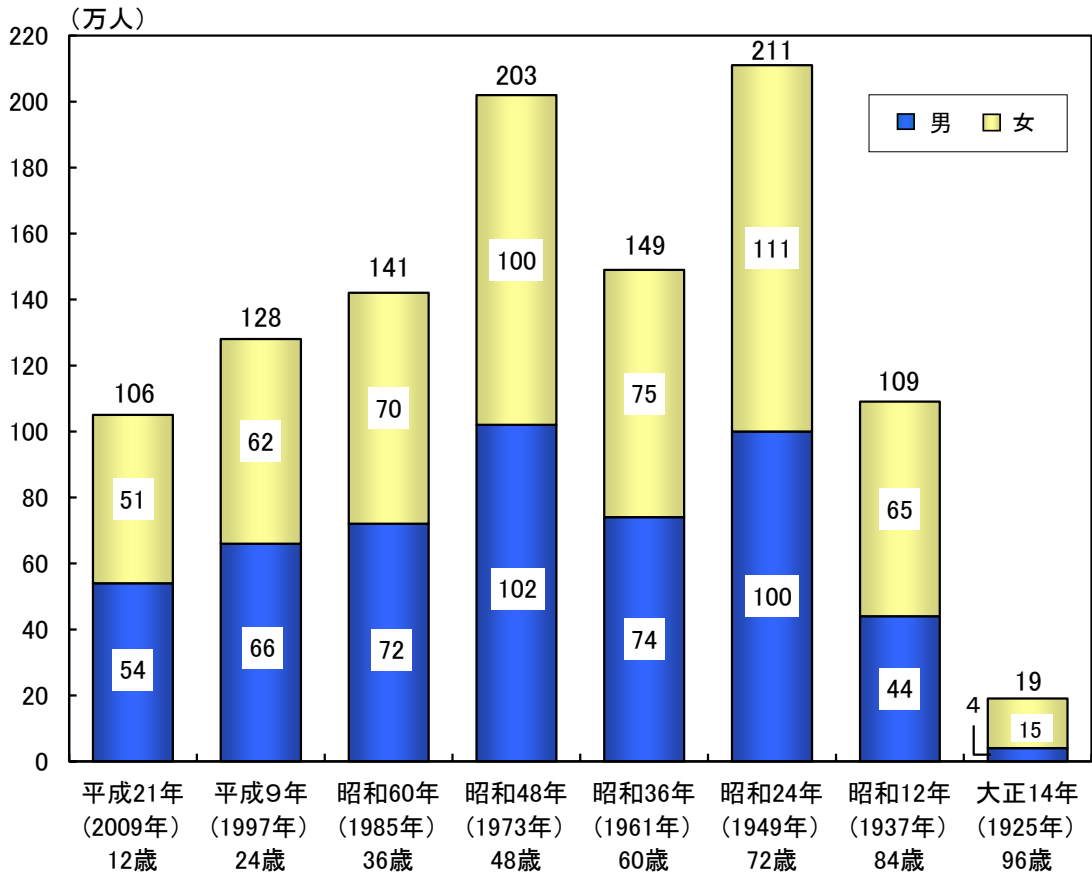


表2 男女、出生年別^{うし}丑年生まれの人口

生まれた年・年齢		男女計 (万人)	総数に占める割合 (%)	男 (万人)	総数に占める割合 (%)	女 (万人)	総数に占める割合 (%)
総数	—	1066	100.0	517	100.0	549	100.0
平成21年 (2009年)	12歳	106	9.9	54	10.5	51	9.4
平成9年 (1997年)	24歳	128	12.0	66	12.8	62	11.3
昭和60年 (1985年)	36歳	141	13.3	72	13.9	70	12.7
昭和48年 (1973年)	48歳	203	19.0	102	19.8	100	18.3
昭和36年 (1961年)	60歳	149	14.0	74	14.4	75	13.6
昭和24年 (1949年)	72歳	211	19.8	100	19.3	111	20.3
昭和12年 (1937年)	84歳	109	10.3	44	8.6	65	11.8
大正14年 (1925年)	96歳	19	1.8	4	0.8	15	2.7

- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- * 図及び表中の年齢は、令和3年に誕生日を迎えた時の年齢
- * 十二支別人口は、12月末までのデータにより推計した1月1日現在人口のため、令和3年^{うし}生まれの丑年の人は含まれない。

II 新成人人口は124万人

新成人人口(平成12年生まれ)は124万人で前年比2万人増
男性は64万人, 女性は60万人

この1年間(令和2年1月~令和2年12月)に, 新たに成人に達した人口(令和3年1月1日現在20歳の人口)は124万人で, 前年と比べると2万人の増加となっています。

男女別にみると, 男性は64万人, 女性は60万人で, 男性が女性より4万人多く, 女性100人に対する男性の数(人口性比)は105.6となっています。(表3, 図3)

新成人人口の総人口に占める割合は11年連続で1%を下回る

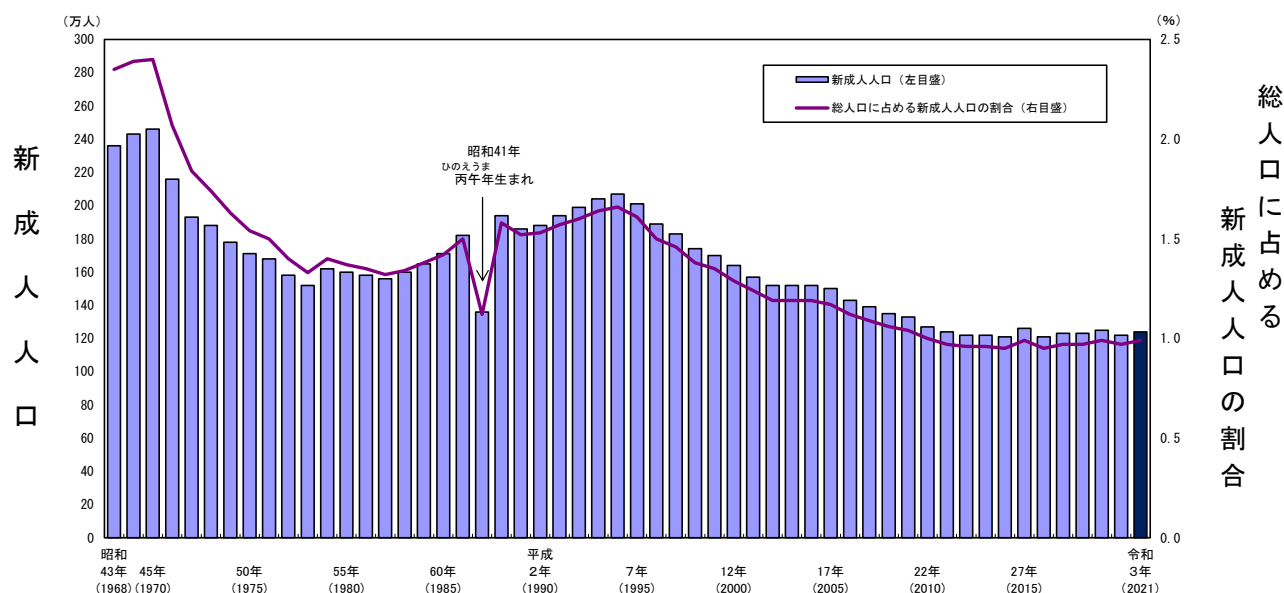
新成人人口について, この推計を開始した昭和43年からの推移をみると, 第1次ベビーブーム(昭和22年~24年)世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人(総人口に占める割合は2.40%)で最も多くなった後, 減少に転じ, 53年には152万人となりました。その後, 昭和50年代後半から再び増加傾向を続け, 第2次ベビーブーム(昭和46年~49年)世代の人が成人に達した時に200万人台(最多は平成6年207万人)となった後, 平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向を続けています。

表3 新成人人口の推移

年次(西暦)	新成人人口 (万人)			総人口に 占める 割合(%)	人口性比	年次(西暦)	新成人人口 (万人)			総人口に 占める 割合(%)	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男	女		
昭和43年(1968)	236	119	117	2.35	101.6	平成7年(1995)	201	103	98	1.61	105.6
44(1969)	243	123	121	2.39	101.9	8(1996)	189	97	92	1.50	105.3
45(1970)	246	124	123	2.40	101.0	9(1997)	183	94	89	1.46	104.7
46(1971)	216	110	106	2.07	103.9	10(1998)	174	89	85	1.38	105.0
47(1972)	193	98	96	1.84	102.0	11(1999)	170	87	83	1.35	105.2
48(1973)	188	94	94	1.74	100.8	12(2000)	164	84	80	1.29	105.4
49(1974)	178	89	89	1.63	100.6	13(2001)	157	81	77	1.24	105.3
50(1975)	171	87	84	1.54	103.6	14(2002)	152	78	74	1.19	104.7
51(1976)	168	86	83	1.50	103.7	15(2003)	152	77	74	1.19	104.7
52(1977)	158	81	77	1.40	104.5	16(2004)	152	78	74	1.19	104.7
53(1978)	152	77	75	1.33	102.8	17(2005)	150	77	73	1.17	104.9
54(1979)	162	82	80	1.40	103.3	18(2006)	143	73	70	1.12	105.0
55(1980)	160	81	78	1.37	103.9	19(2007)	139	72	67	1.09	106.4
56(1981)	158	81	78	1.35	104.3	20(2008)	135	69	66	1.06	105.2
57(1982)	156	80	76	1.32	104.5	21(2009)	133	68	65	1.04	104.9
58(1983)	160	81	78	1.34	104.2	22(2010)	127	65	62	1.00	104.7
59(1984)	165	84	81	1.38	104.3	23(2011)	124	63	61	0.97	104.2
60(1985)	171	87	83	1.42	104.8	24(2012)	122	62	60	0.96	104.9
61(1986)	182	93	89	1.50	104.2	25(2013)	122	63	59	0.96	105.4
62(1987)	136	70	66	1.12	105.7	26(2014)	121	62	59	0.95	105.1
63(1988)	194	99	95	1.58	103.9	27(2015)	126	65	61	0.99	105.5
64・平成元年 (1989)	186	96	91	1.52	105.3	28(2016)	121	62	59	0.95	105.1
2(1990)	188	97	92	1.53	105.5	29(2017)	123	63	60	0.97	105.8
3(1991)	194	99	94	1.57	105.4	30(2018)	123	63	60	0.97	105.5
4(1992)	199	101	97	1.60	104.2	31・令和元年 (2019)	125	64	61	0.99	105.5
5(1993)	204	104	99	1.64	105.0	2(2020)	122	63	59	0.97	105.8
6(1994)	207	106	101	1.66	105.0	3(2021)	124	64	60	0.99	105.6

令和3年の新成人人口は124万人、総人口に占める割合は0.99%で、前年と比べ2万人増、0.02ポイント上昇と、共に2年ぶりの増加・上昇となりました。また、総人口に占める割合は11年連続で1%を下回っています。(表3, 図3)

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移



- * 「人口推計」(各年1月1日現在)
- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。

..... **利用と問合せについて**

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

人口推計

検索

- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi1270.html>
- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。
(例) 「人口推計」(総務省統計局)

【問合せ先】



総務省統計局

総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係

〒162-8668 東京都新宿区若松町 19 番 1 号

T E L : 03 (5273) 1009

F A X : 03 (5273) 1552

Eメール : c-suikei@soumu.go.jp